

2023年度保護者用児童発達支援自己評価表

事業所名 れいんぼう

(児童数) 11

(配布数) 10

(回収数) 10

(割合) 100%

※ 兄弟姉妹は1家庭につき1部配布

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こ かつどうなど 子どもの活動等のスペースが十 うぶん かくほ 分に確保されているか。	9		1		・いいえの回答がありましたので活動スペースは法人内の設備を使用して活動内容やその日の保育に合わせ考えて活用している事を説明し理解して頂きました。
	②	しよくいん はいちすう せんもんせい てきせつ 職員の配置数や専門性は適切 であるか。	8	2			
	③	せいかつくうかん ほんにん 生活空間は、本人にわかりやす こうぞうか かんきよう い構造化された環境になっている か。また、障害の特性に応じ、 じぎょうしょ せつびなど 事業所の設備等は、バリアフ りー化や情報 伝達等への配慮 が適切になされているか。	8	1	1		・どちらともいえない、いいえの回答がありましたので、それぞれの設備など情報伝達を行う為、わかりやすく説明を行いました。要望があれば、個別に対応する事も伝え、理解して頂きました。
適切な支援の 提供	④	こ ほごしや かだい 子どもと保護者のニーズや課題 が、客観的に分析された上で、 きやっかんてき ぶんせき うえ 児童発達支援計画iiが作成され ているか。	10				
	⑤	じどうはつたつしえんけいかく じどう 児童発達支援計画には、児童 はつたつしえん 発達支援ガイドラインの「児童発 達 支援の提供すべき支援」の たつしえん ていきよう しえん 「発達支援(本人支援及び移行 はつたつしえん ほんにんしえんおよ いこう 支援)」、「家族支援」、「地域支 しえん かぞくしえん ちいきしえ 援」で示す支援内容から、子ども ん しめ しえんないよう こ の支援に必要な項目が適切に選 しえん ひつよう こうもく てきせつ せ 択され、その上で、具体的な支 ん ないよう せつてい 援内容が設定されているか。	10				
	⑥	じどうはつたつしえんけいかく そ しえ 児童発達支援計画に沿った支 ん おこ 援が行なわれているか。	10				
	⑦	かつどう 活動プログラムiiiが固定化しない くふう よう工夫されているか。	9	1			・どちらともいえないの回答がありましたので季節・行事に合わせて活動プログラムを作成している事、その日行った活動は連絡帳に記入してお知らせしている事を伝え理解して頂きました。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑧	うんえいきてい りようしゃふたんなど 運営規定、利用者負担等について、丁寧な説明がなされたか。	10				
	⑨	じどうはつたつしえん 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	10				
	⑩	ほごしゃ たい かぞくしえん 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングⅣなど)が行なわれているか。	7	3			・どちらともいいないの回答がありましたので相談等があった場合はその都度、面談や電話連絡、連絡帳を使用し事業所内で対応できる範囲で対応させて頂く事を再度わかりやすく説明し、理解して頂きました。
	⑪	ひごる こ じょうきよう ほごしゃ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来ているか。	10				
	⑫	ほごしゃ たい めんだん いくじ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行なわれているか。	10				
	⑬	こ ほごしゃ そうだん もう 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	10				
	⑭	子どもや保護者との意思の疎通や、情報伝達のための配慮がなされているか。	9	1			・どちらともいいないの回答がありましたので、お子様の送迎時や毎日の連絡帳を通し、また、必要であれば電話連絡や時間を作り、保護者様との意思疎通を図っている事を再度説明し理解していただきました。
	⑮	ていきてき かいほう など 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や、業務に対する自己評価の結果を、子どもや保護者に対して発信されているか。	10				
⑯	こじんじょうほう と あつか じゅうぶん ちゅう 個人情報取り扱いに十分に注意されているか。	9	1			・どちらともいいないの回答がありましたので、職員間でも法令順守について確認し、また人権擁護の観点からも個人情報の取り扱いについては十分注意している事を説明し理解していただきました。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	⑰	<small>きんきゅうじたいおう</small> 緊急時対応マニュアル、 <small>ぼうはん</small> 防犯マ <small>かんせんしゅうたいおう</small> ニュアル、感染症 対応マニユ <small>な ど さくてい ほごしゃ しゅうち せ</small> ル等を策定し、保護者に周知・説 <small>つめい</small> 明されているか。また、発生を想 <small>はっせい そう</small> 定した訓練が実施されている <small>てい くんれん じっし</small> か。	9	1			・どちらともいえないの回答がありました ので各マニュアルを保護者様周知し、そ の内容を保護者様にわかりやすく説明 しました。また、訓練を行った際には、連 絡帳にお子様の様子を記入してお知ら せています。
	⑱	<small>ひじょうさいがい</small> <small>はっせい</small> <small>そな</small> <small>ていきてき</small> 非常災害の発生に備え、定期的 <small>ひなん きゅうしゅつ たひつよう くん</small> に避難、救出、その他必要な訓 <small>れん おこ</small> 練が行なわれているか。	10				
満足度	⑲	<small>こ</small> 子どもは通所を楽しみにしている <small>つうしょ たの</small> か。	8	2		・毎日、楽しく行ってま す。	・どちらともいえないの回答がありました ので理由や原因を究明し、家庭の都合 を含め、お迎えの時間の調整など家庭 と連絡を密に取りながら、一人ひとりに あった声掛けを行い対応している事を説 明し理解していただきました。
	⑳	<small>じぎょうしょ しえん まんぞく</small> 事業所の支援に満足している か。	10			・いつもありがとうございます ます。 ・先生達のおかげでいろ んな事が出来る様にな り、有りがたく思っていま す。	

事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 れいんぼう

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	3			保育室、静養室を使用し、個別・集団の活動内容に合わせてスペースを活用しています。
	②	職員の配置数は適切であるか。	3			職員が遅刻・早退・有給を取る時は、本部から応援に来て頂いています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	3			椅子やロッカー、靴箱など名前のシールを貼り利用児が分かりやすいようにしています。また、地域で生活する為対象利用児が対応出来るよう階段や段差がありますが、場所に合わせて手すりなど安全に配慮した設備を行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			気付いたこと等その都度報告・連絡・相談を行い、一人ひとりに合わせて支援方法を考えています。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	3			毎日の連絡帳等で保護者様から意見や要望をいただいた時は、内容を詳しく聞いて出来るだけ早く対応し、改善に繋げています。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者等向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	3			評価表を踏まえて、職員間で意見を出して話し合いを行い、事業報告書とともに事業所向け自己評価表、保護者向け評価表の結果をホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3			第三者委員会には、元児童相談所所長・弁護士・精神保健福祉士に入って頂き定期的に施設内を巡回し、評価をして意見を出して頂いています。意識を持って対応しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	3			法人内・県内を中心に研修に参加し、得た知識等は現場に活かすよう工夫しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の適切な支援の提供提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3			各市町村の担当保健師から紹介して頂き、保護者様に相談、希望・要望を聞き、本人様の様子を含めて分析し、計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3			保護者様、各担当保健師、医師などそれぞれの専門機関と協力し、柔軟性を持ったアセスメントを行っています。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			保護者様にアンケートにて尋ねた希望・要望を基に支援計画を作成しています。個人面談を行った際、内容について説明を行い質問・意見を尋ね、こまやかな支援内容を設定しています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	3			個別支援計画を基に、毎月のカリキュラムを作成し、日々の保育に取り入れ支援を行っています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3			カリキュラムはチーム内で意見を出し合いながら毎月交代で作成しています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			活動内容に偏りが無い様、また当日の利用児の様子や天候に合わせて行うように工夫しています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	3			保護者様にアンケートにて尋ねた希望や要望を基に、利用児の状況に合わせて支援計画を作成しています。
	⑯	支援開始時には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	3			始業時には、活動の内容に合わせて、注意する点や役割担当について打ち合わせを行い、職員間で理解できるまで話し合いを行い支援に繋げる為工夫しています。
	⑰	支援終了時には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			その日の活動内容を振り返り、反省点や良かった点、気付きを上げ、保護者様と職員が共有し、次回の活動の支援に繋げる為工夫しています。
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			利用児の様子や支援に関する記録をできるだけ細やかにを行い、柔軟性のある支援を行えるようチーム内で共有しています。
⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	3			毎月のケア会議時に、支援計画の目標・経過について確認を行い、見直しの必要があれば、保護者様に相談し、利用児の現状にあった目標を作成しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	3			担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加し、保護者様の話、利用児の様子を伝え、日々の支援に繋がられるよう、職員間に周知しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	3			各市町村の担当保健師には、お子様の様子を伝える連絡を月一回、利用児・保護者様の様子に合わせて随時連絡を入れています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の在宅支援の為に地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	3			対象利用者はありませんでした。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもを受け入れる場合は子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	3			対象利用者はありませんでした。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、以降に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			保護者様の意見を聞き、同意を得て事前に利用児の様子を保育園等より見に来て頂き、様子など話しをする事を事業所から勧めています。保育園との連絡帳を用意し気付いた事など記入し、日々連絡を取っています。今年度も相談支援専門員が間に入っていました。
	㉕	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、以降に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			保護者様の意見を聞き、同意を得て事前に利用児の様子を小学校より見に来て頂き、様子など話しをする事を事業所から勧めています。今年度は電話にて対応しました。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3			法人内の児童発達支援センターと連携し、支援方法・保育活動内容話し合ったり、通園バスを利用したり、行事前の練習時を通して意見交換を行うようにしています。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	3			少人数での活動を希望されている保護者様もいらっしゃる為利用児全員では行っていません。法人内の児童発達支援センターとは、通園バスを利用したり、行事前の練習時を通して交流を持つようにしています。保育園に送迎をし併用利用されている方もいらっしゃる為利用についてはその都度保育園等とも連絡を取り合っています。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3			管理者が飯塚市のこども部会副会長であり会議開催時には参加し好評できる内容を職員間で共有し、必要であれば保護者様にもお知らせしています。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			毎日、家庭での様子を連絡帳にて知らせて頂き、相談等があった場合は、直接面談・電話や連絡帳を使用してその都度返答、対応しています。
㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	3			相談等があった場合には、直接面談や電話、連絡帳を使用して事業所で対応できる範囲内でその都度対応しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③①	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			契約時に説明を行い、変更等があった場合にもその都度説明を行っています。質問があれば、個別に対応しています。
	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3			年に2回、個人面談を行い、支援計画とれいんぼうでの様子を伝え、家庭での様子も保護者様も伺っています。質問・相談があれば、その場で意見を出し合い、対応しています。
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			相談等があった場合には、直接面談や電話、連絡帳を使用してその都度対応、改善しています。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	3			行事を行った際、保護者様同士話しなどが出来るよう場所と時間を設けました。利用児と職員とで行った行事については写真をおたよりに載せ各家庭にお渡しし情報を共有して頂きました。3月には保護者様参加のお別れ会を行いました。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			保護者様から相談があった際、またお子様の様子で気になった事などはその都度電話や連絡帳を使用したり、送迎時に直接話をして対応しています。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3			毎月始めに「れいんぼうだより」を発行、各家庭に配布しています。れいんぼうでの写真を載せ様子もお知らせしています。写真掲載については保護者様の同意を得ています。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	3			写真掲載など個人情報の取扱いについては説明を行い同意を得て書類にサインして頂いています。
	③⑧	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			絵カードや写真カードを使用したりわかりやすくかみ砕いて説明を行う様にしています。また担当保健師にも協力して頂いています。
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3			事業所の見学は、希望があれば随時受け付けています。法人内での行事の際には地域住民・教育関係、児童相談所関係、他の事業所の方々に来ていただいています。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを保護者様にも見て頂き、毎月行う訓練を実施した際には、連絡帳に記入し訓練の内容、利用児の様子をお知らせしています。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	3			火災・土砂災害・地震・水害・不審者侵入対策と様々な状況を想定し、安全に避難が出来るよう訓練を行っています。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
④②	事前に、予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3			服薬がある場合は、服薬依頼書に必要事項を記入して頂き、確認しています。てんかんなどの発作についても、事前に様子など記入して頂き使用する際の同意書に署名・捺印して頂いています。
④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			給食の献立表を配布しています。現在、アレルギーのあるお子様はいませんが、事業所内で対応できる範囲で家庭と連絡を取り合いながら対応します。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	3			法人内各事業所等のヒヤリハットの事例を基に、事業所内で注意すべき点や気付いたこと等職員間で意見を出し、利用児の対応・支援に繋げるようにしています。
④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			法人内各事業所等の研修報告及び施設内外を中心に研修に参加し、得た知識は現場で活かすようにしています。また虐待防止チェックリストを基に毎月のケア会議で虐待の有無を確認しています。
④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			身体拘束を行わず、保育士が安全面を配慮し対応していますが、その時の利用児の状況や周りの環境により、体や手など持って支える際は、法人の身体拘束のマニュアルに基づいて保護者様に説明し、納得した上で対応の仕方について同意して頂き、同意書に署名・捺印して頂きます。また、その時の様子を記録し保護者様にもその都度様子をお知らせします。今年度は該当者はいませんでした。また職員全員で身体拘束マニュアルについて再確認しました。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。